

優秀賞

福島県土木部 県中都市計画道路郡山駅 庚坦原線整備事業

表彰事業名	県中都市計画道路郡山駅庚坦原線整備事業		
表彰対象者	福島県土木部		
都市名	郡山市	事業主体	福島県
事業概要	県中都市計画道路郡山駅庚坦原線は、JR郡山駅と郡山市西部を結ぶ延長約8kmの幹線道路であり、駅、市役所、学校、公園、運動施設の公共施設や商業施設が集積しています。JR郡山駅から国道4号までの本事業区間には商業施設が集積し、交通量が多いえに、バスやタクシー、荷下ろしのトラックなどの停車により、慢性的な交通渋滞が発生し、円滑な交通の阻害となっており、歩道内では、障害物が歩行者の通行の妨げになっていました。これらの問題を解消するとともに、郡山駅前のシンボルロードとして、地元商店街のアーケード改修と併せ、中心市街地の活性化に寄与する整備を実施しました。 本事業は、郡山駅前から国道4号までの350m区間を整備したものです。当該区間は並行する大町横塚線に交通量を転換し、車線を6車線から4車線に減らすことで、バスやタクシーの専用停車スペース及びトラックなどの荷下ろしスペースを整備し、交通の秩序化を図りました。また、歩道のバリアフリー化と電線類の地中化を実施し、商店街と協力して整備することにより、歩行空間の快適性を向上させました。 ○事業延長：0.35Km ○幅員：30m ○事業費：約14.8億円 ○事業期間：平成13年度～平成18年度		
表彰理由	本事業の完成により、駅前のメインストリートに相応しい、バスやタクシーの専用停車スペース及びトラックなどの荷下ろしスペースが効果的に整備され、交通の秩序化と快適な歩行者空間の整備が図られたことが高く評価された。 また、タウンミーティングや地域との意見交換を重ね、郡山駅前のシンボルロードに相応しい道路整備等の検討を行うと共に、交通社会実験を繰り返し、歩道の拡幅や駐車スペース等の設置・アーケード改修など住民との合意形成と関係機関との総合的な調整を図りながら、事業を進めてきたことも高く評価された。		

